Peppolが輝かせる「主役」たち
～富士ソフトサービスビューロ、デジタルインボイスの「自分ごと」化～

2025年11月７日、デジタル庁は、富士ソフトサービスビューロ株式会社との間で、政府調達システム（GEPS）に対するデジタルインボイスでの請求について「振り返り」を行いました。

富士ソフトサービスビューロ株式会社は、国税庁に対する「軽減税率・インボイス関連のコールセンター業務」をサポートしており、その業務に係る請求について、GEPSに対するデジタルインボイスでの請求を行いました。

「振り返り」では、渡邊氏より「システム間のデータのやり取りであるデジタルインボイスであっても、例えば、その実施のタイミングなど、売り手と買い手双方間でのコミュニケーション・認識の一致が重要だと感じた」との話がありました。

そのうえで「GEPSに対するデジタルインボイスでの請求は貴重な体験だった。今回の体験を活かして、来年度の政府調達案件や、デジタル庁以外の省庁との政府調達案件でも取り組んでいきたい」といった前向きな話がありました。

富士ソフトサービスビューロ株式会社
右から執行役員　坂口　裕之氏、経理財務部　田野氏、福田氏、
営業推進部　渡邊氏